

令和4年度第1回「墨田区子ども・子育て会議」議事要旨

日時：令和4年5月25日（水）午後6時30分～午後7時30分

会場：すみだリバーサイドホール イベントホール

次 第

1 開会

2 委員紹介

3 議題

- (1) 区からの諮問
- (2) ワーキンググループの設置及びワーキンググループ長の互選
- (3) ワーキンググループの進め方

4 その他

- (1) 子育て支援活動助成事業の報告
- (2) 墨田区公設保育所整備計画の配布
- (3) 子ども・子育て支援に関するトピックご紹介【浅見准教授、古屋准教授】

5 次回開催予定

6 閉会

配布資料

資料1	今後の子育て支援施策及び放課後の居場所作りのあり方について（諮問）
資料2	「墨田区子ども・子育て会議」ワーキンググループ別名簿（案）
資料3	ワーキンググループの進め方（案）
資料4	令和3年度子育て支援活動助成事業の実績報告
資料5	墨田区公設保育所整備計画
資料6	子ども・子育て支援に関するトピックご紹介【古屋准教授】

出席者(敬称略)

○委員

西村 孝幸 (小梅保育園長)
西島 由美 (にしじま小児科院長)
野原 健治 (社会福祉法人興望館理事長)
浅見 佳子 (相模女子大学准教授)
古屋 真 (駒沢女子短期大学准教授)
八重田 裕一朗 (墨田児童会館館長)
小林 恵子 (両国子育てひろば施設長)
押田 剛 (主任児童委員)
末田 豪 (立花吾孺の森小学校PTA会長)
平林 秀敏 (墨田中学校PTA会長)
尾口 優子 (青少年委員協議会委員)
種窪 茉莉 (マミーズエンジェル墨田みなみ保育園施設長)
賀川 祐二 (NPO法人 病児保育を作る会代表理事)
山内 好恵 (ル・アンジェ両国保育園施設長)
佐藤 雅代 (区民公募委員)
眞能 貴代 (区民公募委員)
谷津田 真央 (区民公募委員)
横田 絵美 (区民公募委員)
宮田 宏子 (立花幼稚園長)
島田 和久 (押上小学校長)
國分 幸美 (花園保育園長)

<欠席委員>

岡田 真 (江東学園幼稚園長)
山口 仁美 (両中地区青少年育成委員会委員長)
佐藤 順一 (吾孺立花中学校長)

<傍聴者>

1名

○事務局出席者

酒井 敏春 (子ども・子育て支援部長)、宮本 知幸 (教育委員会事務局次長)、石岡 克己 (子育て支援課長)、大八木 努 (子育て政策課長)、高橋 淳一 (子ども施設課長)、梅原 和恵 (子ども・子育て支援部副参事 (子ども・家庭支援連携担当))

開会

2 委員紹介

3 議題

(1)区からの諮問、(2)ワーキンググループの設置及びワーキンググループ長の互選

会長	3の議題の(1)、区からの諮問について、事務局より御説明をお願いします。
事務局	(資料に基づいて説明)
会長	<p>今、事務局からご説明がありましたとおり、今回、墨田区から諮問を受けました。一つが、乳幼児を対象とした今後の子育て支援施策について、もう一つが、今後の子どもの放課後の居場所作りのあり方についてです。大きなテーマとなっておりますので、具体的に検討していくに当たって、二つのテーマについて、乳幼児と学齢のワーキンググループに分けて、活発な議論をしていただければと考えております。乳幼児と学齢の二つワーキンググループを設置して、それぞれの諮問事項を具体的に検討する形をとりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。もし、提案に対して賛同いただけるようでしたら、拍手で承認をお願いします。</p> <p>(各委員拍手)</p> <p>ありがとうございます。それでは、承認をいただきましたので、次に、各委員に所属いただくワーキンググループについては、資料2「墨田区子ども・子育て会議」ワーキンググループ別名簿(案)に、事前に分けさせていただいております。このグループ分けを進めさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>

ワーキンググループ長の互選

乳幼児ワーキンググループ長に西村会長が、学齢ワーキンググループ長に野原委員が選出された。

(3)ワーキンググループの進め方

会長	次に、次第3(3)のワーキンググループの進め方について、事務局より御説明をお願いします。
事務局	(資料に基づいて説明)
会長	ありがとうございました。今年1年の進め方について説明をいただきました。ただいまの説明について、御意見、御質問等はございますか。皆さん承知いただけましたでしょうか。事務局から提案をいただきました内容で、ワーキンググループを進めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

4 その他

会長	次に4その他、(1)子育て支援活動助成事業の報告について、事務局より御説明をお願いします。
事務局	(資料に基づいて説明)
会長	ありがとうございました。ただいまの説明について何か質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。墨田の中で子ども・子育てに関して活動していきたいと意欲がある方

	<p>がいらっしゃるといことで、そういった活動を支援していく中で、より良いまちづくり、子育てに関するまちづくりを実現してための施策かと思ひます。今年度も引き続き実施されるということですので、またやる事業等が決まりましたら、本会議委員の皆様にも御案内いただきたいと思ひております。それでは、本件については報告のとおり、御承知おきいただければと思ひます。では、次に、次第4(2)、墨田区公設保育所整備計画についてです。事務局から御説明をお願いいたします。</p>
事務局	(資料に基づいて説明)
会長	<p>ありがとうございました。この整備計画については、去年皆様に御意見をいただきました。それらを踏まえて計画として作成されたということ、御報告のとおり御承知おきいただければと思ひます。次に、次第4の(3)子ども・子育て支援に関するトピックの紹介についてです。学識経験者として二人の先生に入っていております。先ほども紹介させていただきました浅見先生と古屋先生のお二人から、最近の子ども・子育て支援に関するトピック等について御紹介をしていただければと思ひます。まず、オンラインでの御参加でありまず浅見先生から、最近の子ども・子育てに関する動向について、御報告いただけますでしょうか。</p>
浅見委員	<p>私の専門は幼児教育・保育になりますので、そちらの視点からお話をさせていただきますが、もちろん小学校以降の教育の場にも繋がることではないかというふうに思ひておりますので、どうぞよろしくお願ひします。コロナ禍の保育教育についてお話をします。この2年間、本当に困難の中で現場の先生方は子どもを守って、家庭を支えるために尽力をされていたと、現場の先生を拝見しても思ひておりました。並大抵の大変さではなかったのではないかとこのように思ひています。その中で見えてきたこと、この大変な中でも見直されて良かったこともあるのではないかなと考へています。と同時に、皆さんももちろん考へていらっしゃると思ひますが、これから特に子どもの姿を通して注視していかなければならないこともあるかと思ひます。最初に、見直されて、このコロナの苦しい中でも良かったというふうに見えたことについて、二つほどお話をさせていただきます。これはニュース等でもよく取り上げられていたかと思ひますが、行事について、コロナ禍で、何のために行うのか、誰のために行うのか、あと子どもにとって本当に必要な経験なのかというところが見直されたのではないかと思ひています。本当に今必要である経験については、何があっても取り組んでいこうということもきちっと考へられていたと。またその取り組み方もどのようにしていくのか、進め方もどうしていくのかというところを、もう一度再認識をして進めていったというふうな、実践のお話を私は伺うことがありまして、それは子どもにとっても良いことだったのではないかと思ひております。もう1点、分散登園とか分散登校という形で、子どもの数を少なくしてとか、時間差でというふうなところで、保育・教育の現場でいろいろ行われたのではないかと思ひます。それによって、一斉活動とか、みんなが同じことをして同じ時間にすべきことというふうな、その一斉活動の見直しということが行われる中で、一人一人のペース、取り組みを大事にするところの見直しがされてきたのではないかと思ひております。もちろん今まで、一人一人大事にされてきたと思ひますが、現場の先生方からお聞きしたりすると、今まで以上に一人一人に目を向けやすくなったと。というのはその規模が少し小さくなったり、時間がずれてくるので、一人一人に目を向けやすくなる。そうすると子どもへの見方が変わってくる。そうすると関わり方もまた変わってきますよね。そこからま</p>

	<p>た子どもの姿が変わっていった遊びの姿、展開が変わっていたり深さが変わっていったり、そこでの学びがまた見えるようになったりというところで、実践に向かう一歩を踏み出したというようなお話を伺うこともありました。コロナ禍を通して、これらのことというのは保育の内容、保育の質の問い直しが行われたというふうに考えることができるのではないかと思います。苦しい中でもよりよい実践に向けた取り組みが行われたということはとてもよいこととして、前向きに捉えて今後も取り組んでいくべきことではないかと思っています。一方で、人の距離を保たねばならぬとか、消毒をせねばならぬとか、マスクはすべきであるとか、食事中はおしゃべりをせず、黙食をせねばならぬというような、「ねば」、「べき」ルールというものがすごく強化された2年間だったかなと。そのルールに従うことが正しいとされることがすごく多くて、一つの答えというのが示されて、それに従うことというのが求められる2年間でもあったのではないかと思っています。もちろん、コロナ対策として必要なことだったと思いますし、現場の先生、皆さんもそうせざるを得ない中で苦しみながらも行ってきたというのは、そのとおりだと思います。でもそのコロナ対策によって、子ども自らが育つ力を弱めてしまった部分もあるというところに目を向けていく必要があるのではないかと思っています。つまり、子どもの姿を今まで以上に丁寧に捉えていくというか、特に乳幼児等は言葉ですべて説明できるわけではありませなし、表情であったりとか、行為であったりとかで、伝えてくれることがあると思います。ですので、その姿を丁寧にしながら、今のこれからの子どもたちにとって必要なことは何か、支えとなる経験は何なのかということを考えていく必要があるのではないかというふうに思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>今お話にありましたとおり、子どもに関わるところの現場を持っている者にとっては、この2年間試行錯誤で、なかなか計画していたこともできず、改めて、何をやる、何でやっているのかとか、自分たちでやっている事業に対して見つめ直す機会になったのかなというふうに思っております。非常に直に存在するお話でした。ありがとうございました。</p>
<p>古屋委員</p>	<p>こども家庭庁について紹介をさせていただきます。</p> <p>私は普段、教育学、教育心理学を専門に研究させていただいてるところですが、その教育心理学的なところから見ると、今回のこども家庭庁の設置で気になるキーワードがひとつありました。それが、この資料（資料6）にも書かせていただいているwell-beingです。こども家庭庁は、内閣府の内部局として立ち上がることにはなっていますが、ここに示させていただいた資料のとおり、文科省や厚労省、内閣府がそれぞれ管轄しているところをいかに統一していくかというところがきっかけで話が進んでいるところでもあります。このような議論は、1990年代位からずっとなされてきた議論かというふうには思いますが、そういった行政の壁ですとか、年度が変わると担当者が変わる、それから年齢というところ言えば、18歳に成人年齢が引き下がりましたが、19、20歳のサポートするような制度があるのか。そういった年齢の切れ目みたいなのところもあります。結局のところ、子どものwell-beingとはいったい何だろう、というところがすごく疑問に上がってくるところで、裏面をご覧くださいと、こちらの資料は、閣議決定の資料を要約させていただいたものですが、この資料の中に挙げられていたキーワードを裏の方に列挙させていただきました。本当に今、子どもたちの周りにある課題は、複合的なものばかりで、例えば、子どもの貧困と、それからひとり親家庭と、医療的ケアというのが同時に起こっていたり、かなり複雑な状況になってきていると思います。これからやはり墨田区の中でも、子どもに関する施策を進めていく中で、</p>

	<p>一体何をゴールにしていくのかというところが、私も考えたいと思っています。墨田区のwell-beingとは何だろうというところでしょうか。早い自治体ですと、データ連携というところも進めて、例えば金銭的に苦しいような家庭ですとか、出席日数が足りないような、学校や幼稚園保育所が持っているデータと、あと行政が持っているもの、それも全部掛け合わせて、ちょっと危なそうだというところは、プッシュ型で、先に行政の方から、大丈夫ですかというような取り組みをやらうと言っている行政もあるようです。そういうふうな複合的な中で、データ連携とか、考えていかなければいけないことがたくさんあるとは思いますが、ひとまず、この会議体の中でも、何が課題で、その課題をクリアして、最終的に何を大切にしていっていか、ぜひ共有させていただけたらと思って、こども家庭庁のお話をさせていただきました。</p>
会長	<p>こども家庭庁は来年には設置されるということで、今準備が始まっていることかと思えます。国の行政機構が変わりますと地方の私たちの墨田区にも下りてくるものです。会議体としても、そういった動向をしっかりと見ながら議論を進めていきたいと思えます。</p> <p>それでは、皆さんが一同にいらっしゃっていますので、この子ども・子育て会議に参加するにあたって、思いやお考えを一言ずついただければと思えますので、よろしく願いいたします。</p>
委員	(各委員から今後の抱負等)
会長	<p>ありがとうございました。皆様からそれぞれの思いですとか、お考えをお聞きすることができました。委員の皆様と今年度、より良い会議を開催し、運営して参りたいと思っています。</p>

4 次回開催予定

会長	<p>次回の開催予定を事務局からお願いします。</p>
事務局	(次回の日程について報告)
会長	<p>それでは、これもちまして、令和4年度第1回「墨田区子ども・子育て会議」を閉会いたします。</p>

閉会

以上